

発行／越谷市 〒343埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 ☎0489(64)2111 FAX 0489(65)6433 編集／企画部広報広聴課



彩の国さいたま

越谷市民憲章

わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。

1. きまりを守り、信じあい、心豊かな明るいまちをつくります。

1. 自然を愛し、お互いに助けあい、きれいなまちをつくります。

1. 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくります。

「天災は忘れたころにやってくる」。これは、言い古されたことばでしょうか。いつ襲ってくるかわからない災害に対して、常に緊張感をもつて備えるのはたいへんなことですが、市はもちろんのこと、地域の中でも常に災害に備えている方がいます。消防団もそのひとつです。市はそれらの方々と連携しながら、災害に強いまちづくりを進めています。
今号では、越谷市の防災について特集します。(2、3面に関連記事)

1
30万物語
The Story of One-Three hundred thousandth
人口30万都市の鼓動
それは1人ひとりが織り成すドラマです。

今号の主な内容

9月1日は	
防災の日	23
公共下水道	45
催しご案内、施設ガイド、 ふれあいラウンジ タウ ン情報(お知らせパック ～この指とまれ～)	67
公民館コーナー、コミ協 ふれあいだより、行って みたいなどなりまち	8
こどもコーナー	9
健康と暮らし	10
こんにちはすこやかさん、 ホームドクター	11
まちのわだい、ズーム アップ、市政トピックス	12

地域の皆さんのがんの尊い生命と財産を守る



現在、新しい蒲生公民館の建設が進められていますが、地域の防災拠点としても位置づけられていますので、大いに期待しています。また、防災の観点からわたくち地元の声を取り入れてもうれしいです。

消防団は、市の消防と一緒に防災に努めていますが、特に地域に密接な活動を行っています。

消防団の活動には、地域の方々の信頼と家族の協力が欠かせないと思っています。住民の方から感謝の言葉をかけられるのが一番うれしいですね。そして、少しでも地域のために思っている人に積極的に参加してほしいですね。



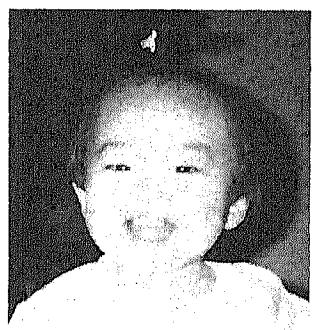
越谷市消防団蒲生分団長
中村儀右門さん

地域に密着した活動を

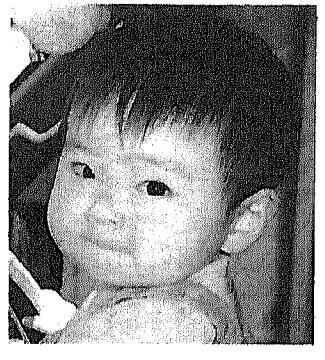
着した活動をしています。鎮火後の残り火の警備なども行います。団にはいろいろな職業の人がありますが、活動となれば、皆それぞれの役割に応じてきつちりと活動します。地域のためという共通の思いが原動力になっています。団の活動には、地域の方々の信頼と家族の協力が欠かせないと思っています。住民の方から感謝の言葉をかけられるのが一番うれしいですね。そして、少しでも地域のために思っている人に積極的に参加してほしいですね。



こんにちは すこやかさん



なかじまゆきくん (7.12.17生。千間台西)。
「いたずらいっぱい。わんぱく盛りのたくちゃん。元気いっぱい育ってね」



かわいななみや 川島尚也くん (8.8.3生。千間台西)。
「ぼくは商店街の人気者、酒屋の看板息子です。ヨロシクネ」

▲このコーナーへの掲載希望がとても多いため、ご紹介がたいへん遅れています。なお、これから掲載を希望する方は半年以上先となります。

*写真はお返しできませんのでご了承ください



ホームドクター

286



越谷市医師会
獨協医科大学越谷病院

65-1111
有泉 基水

熱性けいれん

熱性けいれんは生後2ヶ月から3歳までの子どもたちで、38度以上の発熱時に起きるひきつけです。しかし発熱したときおこるけいれんには、脳炎や転膜炎などの脳の感染症やすぐにかかる病

どもおひきつけを頻発する

ことがあります。これが反して

熱性けいれんの発症す

ることはありません。

この病気は単純型と複合

型に分けられます。単純型

はけいれんの持続時間は多

くは10分以内と短く、

自然にけいれんが消失し

ることは極めてまれで、

けいれんには、脳炎や転膜

炎などの脳の感染症やす

ぐにかかる病

になります。比較的多い病

は熱性けいれん

があります。

この病気は、発熱する

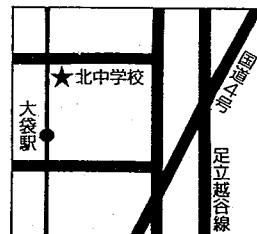
前から精神運動亢進の現

象の一つです。

ズームアップ

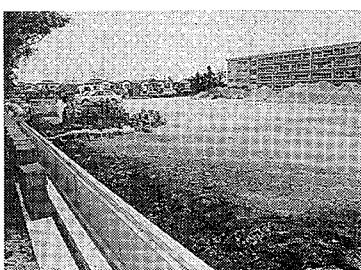
21世紀に向けたまちづくり

校庭に雨水をため 洪水防止に利用



北中学校で雨水貯留浸透事業が進められています。これは、大雨などのときに、校庭に一時的に水をため、川に流れ込む量を減らして洪水を防ぐことを目的としたものです。校庭の周囲にブロックなどを積み、グラウンド部分を低くして水をため、周辺の水が引くと校庭の端のU字溝から徐々に流すという仕組みになっています。

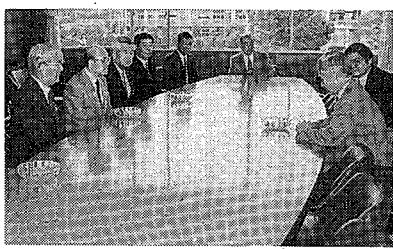
この事業は昭和61年度から始まったもので、今年度は西中学校でも行われています。2校を合わせると市内24小学校と4中学校の校庭が多目的雨水貯留施設となり、4万3412立方メートルの貯留量となります。



校庭の整備が進む北中学校

市政トピックス

北越谷駅東口A街区再開発事業 出店に関する覚書が締結されました



8月25日、中央市民会館において、北越谷駅東口A街区市街地再開発準備組合(藤浪保雄理事長)と株式会社東急ストアとの間で、キーテナントとして出店することに関する覚書が締結されました。

また、締結式終了後、式に出席した準備組合正副理事長と東急ストア役員が、市役所に島村慎市郎市長を訪ね、覚書を締結したことを報告しました。北越谷駅東口A街区市街地再開発事業は平成6年1月に都市計画決定されたもので、約0.9ヘクタールの地区を対象に駅前広場や都市計画道路を整備するとともに、商業・業務・住宅などの複合施設を建設し、大沢地区の玄関口にふさわしいまちづくりを進めようというものです。今後は、準備組合を中心に早期の事業着手を目指し、計画案の詰めを行っていきます。

「越谷市ふれあいの森」づくりが 埼玉県水資源功績者の表彰を受けました

8月4日、県が「水の週間」の行事の一環として水資源行政に大きな功績があった個人または団体を表彰する埼玉県水資源功績者に、シビック・トラスト「越谷市ふれあいの森」づくりが選ばされました。「越谷市ふれあいの森」づくりは、あだたら高原少年自然の家を拠点に、自然保護や水資源の保全などを目的に、昭和61年度から行われているもので、これまでに1万人以上の市民の方が参加し、16万5000本の木が植えられています。

テレビ埼玉 いきいき 越谷 広報番組

放送日
9月21日(日)
午前9時30分~50分

再放送
9月22日(月)
午前11時00分~20分

ご意見、ご感想をお寄せください。
問合せ
広報広聴課広報係

火災などの災害から地域の安全を守る消防団の活動を第15回越谷市総合防災訓練の様子とともに紹介する予定です。

*放送を収録したテープ(前月分まで)が市立図書館にあります。ご利用ください

NACK5
179.5FM

毎週水曜日、午後4時20分ごろにFM埼玉で越谷市の30秒スポットを放送します。

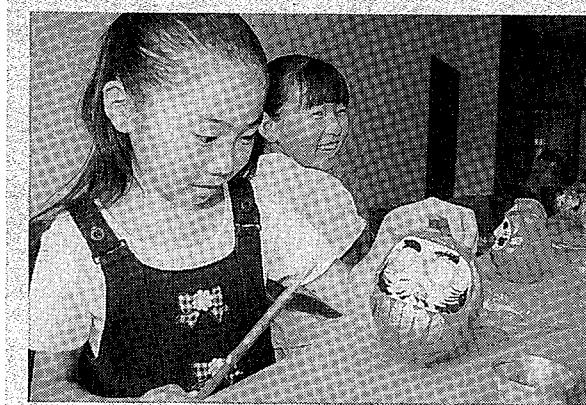
今回の特集では、消防団の蒲生分団を取りさせていたしました。皆さんの仕事などの都合もあり、取材は朝の6時から。早起きが苦手なわたしも、皆さんのきびきびした動きに眠気が飛びました。災害ともなれば夜でも出動しなければならないし、ご家族の協力も大きな支えになっていたのです。朝の6時から。早起きが心がひしひしと伝わってきました。

・まちのわだい

タウンピット

人口30万都市の鼓動
それは一人ひとりが
織り成すドラマです

このコーナーでは、自治会活動のニュースや皆さんの身近に起きた楽しい話を募集しています。写真に簡単な文章をつけて343越谷市越ヶ谷4の2の1越谷市役所「広報こしがや」係まで



上手にできたかな

この日は、親子33人が参加。まずは、だるまの顔に慣れない手つきでまゆやひげを描きました。次にせんべいの焼きに挑戦。子どもたちは、熱さをこらえて焼いた手作りせんべいをおいしそうに食べていました。

8月20日、「だるまの顔描き・せんべいの手焼き教室」が松崎達磨産業(下久里)で開かれました。この体験学習は、市の地場産業である越谷だるまと越谷せんべいを子どもたちに知ってもらおうと、夏休みを利用して開かれたもの。越谷市観光協会の主催で、今年で13回目となります。

この日は、親子33人が参加。まずは、だるまの顔に慣れない手つきでまゆやひげを描きました。次にせんべいの焼きに挑戦。子どもたちは、熱さをこらえて焼いた手作りせんべいをおいしそうに食べていました。



ヤットセの掛け声が高らかに響きました

00人の踊り手が、力強い男踊りやあやかな女踊りを披露しました。笛や太鼓の音に乗つて、軽妙な流逝りが進むと、沿道をいっぱいに埋めた観客から大きな声援が送られ、見物客と踊り手が一体となって踊りを楽しみました。



アジア・アフリカの伝統音楽が一つになりました

この日は約50人が訪れ、能舞台に繰り広げられた伝統楽器の音の共演に行われました。この日は約50人が訪れ、能舞台の合奏が日本古来の笛「能管」の合奏が「ヤンベ」、中国の打弦琴「揚琴」や「琵琶」の合奏が行われました。

「初めて衣装をつけて大勢の人の前に出たけど、緊張はしませんでした。昔の人の服は重くてたいへんだつたんだなあと思いました」

5歳のとき、両親の勧めで「こしがや能楽まつくり推進事業」謡曲・仕舞養

り成コースに入る。「4年間の養成」スで、稽古(けいご)がちょうどつらいと思つたこともあります。先生にほめられたし、みんなの前で舞うのが楽しかったので、修了生の作ったサークルに入つて続けています。今回の舞台では稽古の成果が出せて、自分でうまくできたと思います」能楽のはか、剣道にも熱中し、将来は師範になりたいといつて夢を持つ。

8月23日と24日、越谷の夏を彩る名物行事の一つとなつた南越谷阿波踊りが、新越谷駅周辺で開かれました。これは、南越谷阿波踊り

り振興会が主催しているもので、昭和60年から行われています。

今回は地元と本場徳島や東京高田寺などからの59連

が参加。約350人が、力強い男踊りやあやかな女踊りを披露しました。笛や太鼓の音に乗つて、軽妙な流逝りが進むと、沿道をいっぱいに埋めた観客から大きな声援が送られ、見物客と踊り手が一体となって踊りを楽しみました。

8月8日、こしがや能楽アフリカ夢三幻」と題し、日本・中国・アフリカ音楽のジョイントコンサートが開かれました。これは、「風がむすぶアジア・アフリカ夢三幻実行委員会」「越谷飛翔太鼓」「A・C森の風」が主催したもので、子どもたちによる和太鼓演奏とアフリカの伝統打楽器「ヤンベ」、中国の打弦琴「揚琴」や「琵琶」の合奏が行われました。

能「海士」に子方として出演、約80分間を堂々と演技切った。でも、声がよく出る

た。先生にほめられたし、みんなの前で舞うのが楽しかったので、修了生の作ったサークルに入つて続けています。今回の舞台では稽古の成果が出せて、自分でうまくできたと思います」能楽のはか、剣道にも熱中し、将来は師範になりたいといつて夢を持つ。

わがまちこの人

8月5日に行われた「第8回こしがや新能」に「市民能楽養成事業」の修了生として初めて出演した(大袋耕太くん、塙島耕太くん)